

飯伊 産業経済動向

No.463 2017/10
(29. 11. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比			
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	4,055	枚	29.8	%	7.3	%		
	金額	4,483,553	千円	△	1.5	%	19.2	%	
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 0 枚)		(前年同月 0 枚)			
	金額	0	千円	(前月 0 千円)		(前年同月 0 千円)			
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	7	件	(前月 6 件)		(前年同月 7 件)			
	飯伊	1	件	(前月 1 件)		(前年同月 1 件)			
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(9月)		84	戸	21.7	%	7.7	%		
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(9月)		1.62	倍	(前月 1.65 倍)		(前年同月 1.47 倍)			
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,940	台	△	26.5	%	△	10.7	%
	中古車	594	台	△	2.3	%	△	6.3	%
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会)(9月)	新車	4,788	台	50.4	%	11.7	%		
	中古車	922	台	10.7	%	7.5	%		
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	118,791	台	2.7	%	△	3.6	%	
	出	119,558	台	2.7	%	△	3.5	%	
中央道利用台数 (松川インター分)	入	85,734	台	3.6	%	△	1.8	%	
	出	83,637	台	3.1	%	△	1.4	%	
中央道利用台数 (園原インター分)	入	14,517	台	△	3.3	%	△	20.5	%
	出	14,647	台	△	2.5	%	△	22.2	%
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	44,701	台	0.9	%	△	8.9	%	
	出	44,691	台	1.5	%	△	8.3	%	
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		142	件	△	20.7	%	△	3.4	%
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		4	件	(前月 4 件)		(前年同月 2 件)			
高速バス乗車人数	飯田～新宿	26,902	人	△	1.0	%	△	4.1	%
	飯田～名古屋	18,323	人	△	1.2	%	△	1.9	%
	飯田～長野	10,081	人		6.7	%	△	1.9	%
市内循環バス乗車人数	左回り	3,486	人		1.8	%	0.0	%	
	右回り	3,363	人	△	0.2	%	△	5.5	%

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに行っています。



100%植物性インキ
[リチウム]100%を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

10月の製造業の業況判断指数（DI）は、製造業の業況判断指数（DI）は、プラス34.5で、前月から5.9ポイント上昇。翌月予測もプラス46.4で、前月から16.4ポイント上昇している。

電気、精密機械器具の販売は、前月比やや増加～増加。景況感も好転している。半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。受注面では前月に比べやや減少との声が多いが、前年比は増加している。「半導体需要の増大は継続」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者は見られない。産業機器や医療機器向け部品の販売は、概ね横ばい～増加。受注面でも、一部に前月比微減との声もあるが、横ばい～増加との声が多くを占める。「親会社の次年度の生産台数が発表されたが、増産基調」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者が多い。建築用金属製品の売上の前月比は、概ね横ばいも、景況感好転との声が寄せられた。光学部品の販売は、前月比、前年比ともやや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも増加。光学部品の販売は、前月比、前年比ともやや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。小型電磁機器の販売は、前月比横ばい～やや増加、前年比はやや減少との声が聞かれた一方で、景況感が好転した業者も見られた。FA関連モーターの受注、販売は、前月比概ね横ばい、前年比は増加、景況感も好転との声。電気、電子製品では、受注、販売とも前月比増加、景況感も好転との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、横ばいとの声が多いが、「例年のこととはいえ落ちてきている」など減少との声も聞かれた。水引製品の販売は、前月比横ばい～増加。受注面では、前年に比べやや増加したとの声が聞かれた一方、前月より減少したとの声もあり、こうした業者では当月の景況感も悪化している。漬物の販売は、前月比やや増加、前年比概ね横ばいとの声が寄せられた。「特別大きな動きは感じられない」という。

建設業

10月の建設業の景況DIは、6.3で、前月から横ばい。翌月予測DIも、0.0で、前月から横ばい。

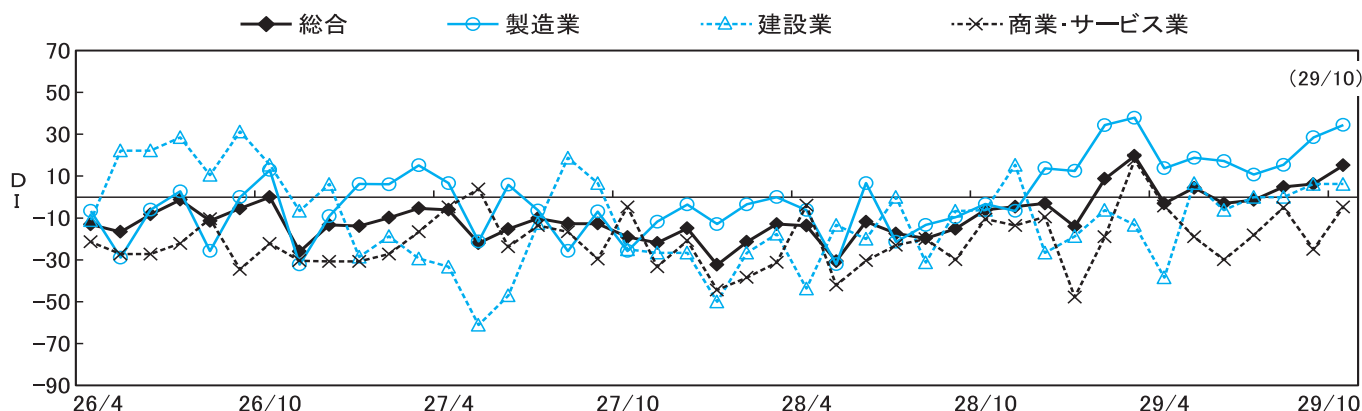
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約14.6億円で、前月比は30%減少、前年比81%減少している（10月15日調査時点）。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれるが、横ばい～やや増加との声が多い。「10月の補正予算がゼロ。選挙の影響があったのではないか」「県の予算はリニア関連の測量、調査の発注が多く、工事に対するものが例年より少ないように思う」などの声が聞かれ、景況感、一部に悪化した業者が見られたほか、好転には至らないとの声が多い。

民需の住宅着工戸数（9月）の住宅着工戸数は84戸。前月比22%増加、前年比も8%増加している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばいとの声が多く、景況感が好転した業者は見られないものの、「業界全般に物件数は多い」などの声が聞かれた。

商業・サービス業

10月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス4.8と、前月より20.2ポイント上昇。翌月予測DIも、プラス4.8で、前月より13.9ポイント上昇している。食料品の売上の前月比は業者により増減まちまち。前年比はやや減少との声が多い。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比変わらず、景況感に変化は見られない様子。家事用品卸の売上は、前月比横ばい、前年比はやや増加。電化製品の売上は、前月比は業者により増減まちまち、前年比減少～やや減少。OA機器の売上は、前月比、前年比ともに増加も、「特別な案件があって売上は伸びたが、仕入単価の値上がりのほかに、配送費負担の上昇も目立ってきた」などの声。衣料品の売上は、前月比、前年比ともに、業者により増減まちまち。増加したとする業者にあっても景況感の好転には至っていない。娯楽用品の売上は前月比、前年比ともに変わらず。土産物関連の売上は前月比減少～横ばい。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比27%減少、前年比も11%減少。9月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比50%増加、前年比も12%増加。自動車販売、整備の売上は、前月比、前年比とも増加、「新車、中古車共に売上増加」など景況感も好転との声が寄せられた。市内料理店の売上は前月比、前年比ともに業者によって増減まちまち。昼神温泉からは、前年比に関し「台風によるキャンセルがあったものの、紅葉シーズンに入り売上も伸び前年度より売上がUPした」との声があった一方、「週末ごとに来る台風によるキャンセルが響き、前年比やや減少」との声も。タクシーの売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加との声。

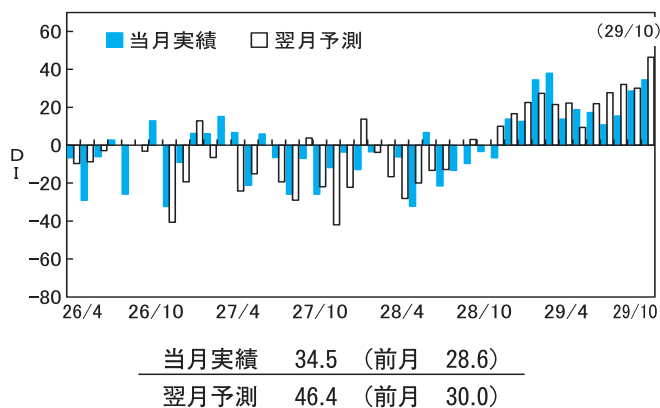
飯伊地区景況DI（本誌調査）



製造業

地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



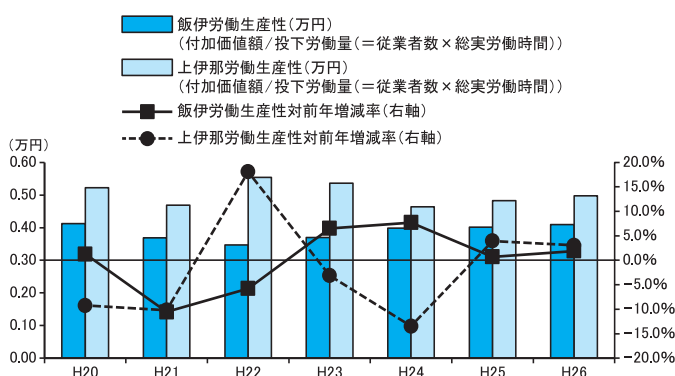
当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス34.5で、前月から5.9ポイント上昇。翌月予測もプラス46.4で、前月から16.4ポイント上昇している。

飯伊地区製造業の労働生産性の推移（試算）

労働力の減少が見込まれる中、その解消手段として労働生産性の向上が挙げられることが多い。そこで、工業統計調査や長野県賃金実態調査を用いて、上伊那地域と比較しながら、当地域製造業の労働生産性の推移を試算した。

労働生産性は、投入した労働量に対してどれくらいの生産量や付加価値が得られたかを表す指標だが、ここでは付加価値額を投下労働量で除して求めた。これによると、当地域の労働生産性は、上伊那に比べ全般に低いことが見て取れる。また、上伊那同様、リーマンショックの影響があった平成21年に労働生産性が低下しているほか、近年は、労働生産性が前年より向上している。

飯伊地区と上伊那地区の労働生産性の推移



資料
付加価値額は工業統計調査による1年間の粗付加価値額。ただし、平成23年は平成24年経済センサス活動調査結果による。
従業員は、工業統計調査による、その年の年末の従業員数。ただし、平成23年は平成24年経済センサス活動調査結果による。
総実労働時間数は、長野県賃金実態調査における各年の平均月間総実労働時間を12倍したものをを用いた。

付加価値が増加するか、投下労働量が減少すれば労働生産性が向上するというように、労働生産性の変動は、付加価値や投下労働量の変動によって生じる。リーマンショックの影響があった平成21年は、付加価値額の減少が大きく、投下労働量を減少させてもなお労働

生産性の低下に歯止めをかけられなかった様子が窺える。また、平成26年を見ると、当地域では付加価値額は前年に比べやや減少したものの、それを上回って投下労働量が減少したために労働生産性が向上した一方、上伊那では、付加価値額が前年より上昇したことに加えて、投下労働量も若干減少したことから労働生産性が向上したものと見られる。

労働生産性増減の要因1

	飯伊付加価値額増減率	飯伊投下労働量増減率	上伊那付加価値額増減率	上伊那投下労働量増減率
H20	1.7%	0.4%	-10.6%	-1.5%
H21	-27.5%	-19.0%	-22.9%	-14.2%
H22	5.2%	11.6%	18.0%	0.0%
H23	1.1%	-5.1%	-10.7%	-7.8%
H24	13.0%	4.9%	-9.9%	4.1%
H25	0.4%	-0.3%	4.4%	0.4%
H26	-1.4%	-3.2%	2.9%	-0.2%

機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売は、前月比やや増加～増加。景況感も好転している。前年比も増加との声が聞かれた。先行きも生産の増加が見込まれている。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。一部に、雇用面の不足感を指摘する声が聞かれた。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。受注面では前月に比べやや減少との声が多いが、前年比は増加している。「半導体需要の増大は継続」「半導体、液晶共に好調」「半導体関連が好調」「先月と変わらずスマホ、車載向け増産継続」「メモリー向け増産など需要増大」「FPD関連引き続き良好」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者は見られない。こうした中、「若干施設の増強効果が出ているが、仕掛在庫はなかなか減らない」などの声も。原材料、資材価格に当月大きな動きはなかった様子も、「アルミ素材材一部上昇。厚物が品薄」との声も。雇用面では、「中途社員複数名増員。新卒若干名、中途採用も募集していく」「現状充足も、検討している」などの声。設備面では「今期の予定は終了。老朽化したものは順次更新していく」「当月若干。今後は予定している」などの声が聞かれた。

産業機器や医療機器向け部品の販売は、概ね横ばい～増加。受注面でも、一部に前月比微減との声もあるが、横ばい～増加との声が多くを占める。「医療機器向けはやや減少」「親会社の次年度の生産台数が発表されたが、増産基調」「海外の調達が増大している」「全般に仕事量が増加してきている」「今月もあったが、新規取引先を拡大したい」「受注は順調だが安心感はない。利益の得やすいところに投資していく」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者が多い。先行きについても、強気な見方が多数を占める。

雇用面では、「若干の不足感もあるが様子を見る」など現状維持との声も少なくないが、「僅かだが増員予定」「現状充足も、先行きは厳しくなりそう」「先行き、僅かだが増員」「不足は少しずつだが改善している」「養成中」などの声も。設備面でも現状維持との声が多いが、「自動化を検討」「検討中」「一部投資あり。年明け以降にも予定」などの声も。当月、原材料、

資材価格に大きな動きはなかったとの声が多いが、「前値に比べ1割上昇」「ガソリン代他上昇」などの声もある。一部に製品価格がやや下降した業者が見られた。

建築用金属製品の売上の前月比は、概ね横ばいも、「例年より緩やかだが上昇傾向」など景況感は好転との声が寄せられた。「地方は弱いが首都圏は活発。オリンピック関連工事は着工が遅れたため年明けから本格化しそう」という。雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも増加。景況感の好転には至っていないものの、「ハイブリット車種の増加でこれに関わる部品が好調」などの声が寄せられた。「人手不足で増産のための投資は控えめ。人手に代わる、自動化、省力化の設備導入が主となる」との声が寄せられた。

光学部品の販売は、前月比、前年比ともやや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。先行きは生産の増加を見込んでいるという。当月、原材料、資材価格がやや上昇との声。雇用面では現状維持の様子。設備面では積極的な声が聞かれた。

小型電磁機器の販売は、前月比横ばい～やや増加、前年比はやや減少との声が多かった一方で、景況感が好転した業者も見られた。先行きの見方も分かれるが弱含みとの声は聞かれぬ。当月、原材料、資材価格がやや上昇との声が多かった。

FA関連モーターの受注、販売は、前月比概ね横ばい、前年比は増加、景況感も好転との声が寄せられた。「産業機械向け、車載向けともに増加で推移」という。

電気、電子製品では、受注、販売とも前月比増加、景況感も好転との声が寄せられた。「新規の開発案件はかなりあるが、開発人員が不足して対応できない」との声が聞かれた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、横ばいとの声が多いが、「例年のこととはいえ落ちている」など減少との声も聞かれた。一部に「特定の販路が好調」なこともあって、前年比は増加との声も。「菓子に関しては景況感に変化はない」「伸びがない。次月以降に期待」「消費は、台風の影響もあって良くないとの声が多い」などの声も寄せられ、景況感が好転した業者は見られない。先行きも大きな変化なく推移するとの見方が多い。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子だが、「運賃、段ボールで値上げの話がある」という。一部に雇用面で積極的な声。設備面では概ね現状維持の様子。

水引製品の販売は、前月比横ばい～増加。受注面では、前年に比べやや増加したとの声が多かった一方、前月より減少したとの声もあり、こうした業者では当月の景況感も悪化している。「大量の数の見積りは来るのだが、納期が短く、継続性もない。機械化すれば可能性は膨らむが、問題が多い」との声も。「年末に向けた繁忙期に入り、出荷が多くなっている」この時期、「パートを増員。今後も増員する」「季節パート検討中」などの声が多い。原材料、資材に関し、「二週続けて台風が来たために海外からの入港が遅れている。コンテナの到着が一週間から10日遅れとなっている」「段ボールでは業者から値上げの交渉がある」などの報が寄せられた。「昨年開催を見送った『飯田水引コ

ンテスト』が、高校生など学生の希望が多く、今年度は実施される見込みとなった。ぜひ若い感覚を新しい需要開拓につなげてほしい」「今後は水引を、祝儀物としてではなく『飾り物』として発展させる必要を感じる。こうした観点から商品構成を充実させ、多量のサンプルを発信していく」などの声も寄せられた。

漬物の販売は、前月比やや増加、前年比概ね横ばいとの声が寄せられた。「特別大きな動きは感じられない」という。「天候不順に大きな懸念を持っている。中旬以降の連続降雨や月末の二つの台風など、今後の野菜原料調達に支障がありそう」との声。雇用面で積極的な声も。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比やや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。先行きはやや増加を見込んでいるという。原材料価格の若干の上昇を見込む声も聞かれた。

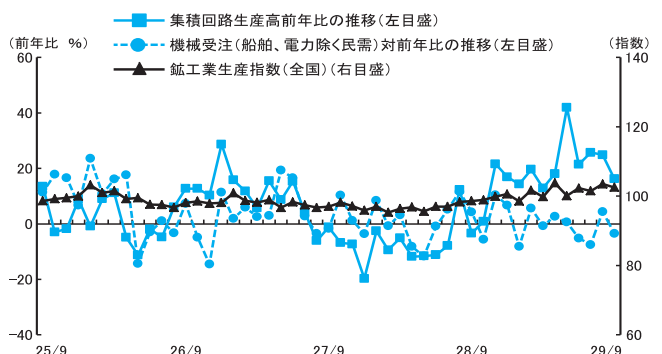
印刷、出版関連の売上は、前月比やや増加。対前年比は、「大きくダウンしたが、これは昨年大物があったため、例年に比べればまずまず」との声が寄せられた。先行きは増加を見込んでいるという。雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

衣料品の受注は、前月比概ね横ばいも、「冬物の駆け込み需要があった」ことなどから景況感は若干好転との声が多かった。「少し円安になり、海外素材がやや上昇」している一方で、「全体的にアパレルが安く出してきた」こともあって製品価格はやや下降しているという。「春物の生産がまだできない」というが、これには「現物対応の状況。作りだめが無くなり、前もって仕掛かれなくなっている。一方、素材の供給もままならず、投入時期が遅れることはあっても早まることはなくなってきた」など、サプライチェーンの変化もある様子。「ネット販売、こだわりを持った製品の好調が続いている。製品の価値が分かる消費者が増えている。値段より価値が重要」との声も聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★今まで業者が直接納品していたが、トラック便を使用したいとの申し出があった。納品業者の人件費抑制のためだという。受け入れると当方の手間も増えるのだが、値下げもあって有難い。前向きに検討したい。
- ★手造りが中心の当業界でも機械化が必要だと思う。
- ★派遣会社、ハローワークとも求職者が少ない。しかも在職者がその内6割を占める。有効求人倍率をみても1.6を超え、人手不足はますます深刻化。

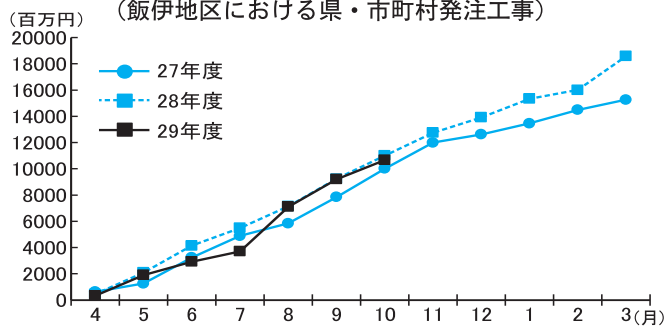
集積回路、機械受注・鉱工業生産指数の推移



建設業

入札額累計の推移

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI	6.3	(前月 6.3)
翌月予測DI	0.0	(前月 0.0)

官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約14.6億円で、前月比は30%減少、前年比18%減少している(10月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれるが、横ばい～やや増加との声が多い。「生コン、骨材、合板などの動きが悪いし、飯田下伊那地方の公共工事の発注量も少ない」「当社は工事が終了し、受注獲得に向けて頑張っているが、競争が激しく受注できていない状況」「地域内の大型物件は減少しているが、当社の規模に応じた仕事量はある」「10月の補正予算がゼロ。選挙の影響があったのではないか」「県の予算はリニア関連の測量、調査の発注が多く、工事に対するものが例年より少ないように思う」「公共事業の発注は例年通り低調。補正予算で増えていくことを望んでいる」などの声が聞かれ、景況感、一部に悪化した業者が見られたほか、好転には至らないとの声が多い。

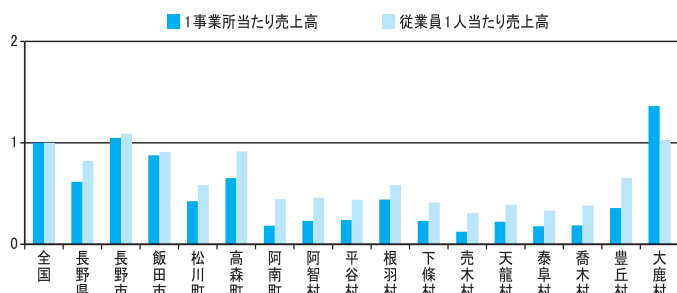
完工高は、業者により増減分かれるが、「天候の影響」もあって減少との声が複数聞かれた。

「依然交通誘導員の確保が困難な様子」「仕事が少ない割には人手不足の感。ガードマンや特殊な職種によっては全くない。東京オリンピック、東日本大震災、九州北部豪雨の復興等で、当地域が忙しくない影響もあるのでは」といった声のほか、「特殊工事を受注しても、下請業者の手持量が多かったり、機動力が不足していたりして工事の進捗が遅れるとの声もある」という。

飯伊地区建設業の一事業所当たり売上高と従業員一人当たり売上高

平成26年経済センサスでは、建設業の事業所の売上金額を市町村別に試算している。上記グラフは、これを、事業所一所あたり、従業員一人あたりに換算し、全国を1とした指数で表したものである。これによると、全般に村部の指数は、飯田市の指数に比べ低い。飯田市であっても全国平均には達していない。また、

飯伊地区建設業 1事業所当たり売上高と従業員1人当たり売上高 (推計 全国=1)



(資料：平成26年 経済センサス参考表)

一事業所当たりの指数よりも、従業員一人あたりの指数の方が全国平均に近い市町村が多く、当地区の事業所では、一事業所当たりの従業員数が全国に比べ少ないことも考えられる。

民需

当地区の9月の住宅着工戸数は84戸。前月比22%増加、前年比も8%増加している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばいとの声が多く、景況感が好転した業者は見られないものの、「今期決算には反映しないが予定がある」「住宅受注。その他、解体工事やリフォーム等もある」「たくさん仕事が出ているとは思えないが、各社まずまず確保できているのでは」「業界全般に物件数は多い」などの声が聞かれた。

こうした中、雇用面の不足感は強い様子で、「やや不足。求人は出すも反応がない」「不足気味。確保する予定」「新卒を確保できてありがたい」などの声。また、「外装系の職人さんがかなり不足している。工期に大きく影響している」「雨が続き職人さんの動きが詰まってきた。また、年末、年度末が近付き、職人さんの確保がやや苦しくなっている」など外注先も思うに任せない様子が窺える。

こうしたこともあってか、工事単価がやや上昇しているとの声も。

建設資材

塗料等建設資材の売上は、前月比やや減少も、先行きはやや増加を見込んでいるとの声が寄せられた。雇用面やや不足感があるという。

鋼材の売上は、前月比、前年比ともやや増加、「やや増加したが、目立った動きはなく、活発化したとは言えない。秋需といえるような動きがなく、鋼材の荷動きは相変わらず低調」などの声が寄せられた。鋼材価格に関し、「流通段階での転嫁が仕切れていない」という。

生コンの売上は、前月比、前年比とも増減分かれ、一部に景況感が好転した業者も見られた。「堰堤工事が始まり若干の出荷量があった。また、砂防作業用道路の工事が予定されており期待したい」「主な出荷はリニア関連工事、三遠南信自動車道関連工事、砂防工事、建設工事。JR発注のリニア関連工事は前月より若干の増加」などの声が寄せられた。

骨材等の売上は、前月比減少、前年比は業者により増減分かれる。景況感が好転した業者は見られず、「当月は期待に届かず一休みといった感。県発注土木が今一つ。助け舟となっていた三遠南信道も舗装がほぼ終了。三遠南信道で新たに発注のあった工区、橋梁やトンネルが動き出すのが待ち遠しい」などの声が寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★気象の影響で、農産物のダメージが需要を鈍らせないかと心配。
- ★工事単価が安定すると、能力に応じた工事量が確保できさえすれば経営が向上すると感じている。

住宅建築確認申請受付状況 (※本誌調査による概数)

10月 ○飯田建設事務所分

新築 17件 (前年 11件)

増築 1件 (前年 2件)

○飯田市役所分

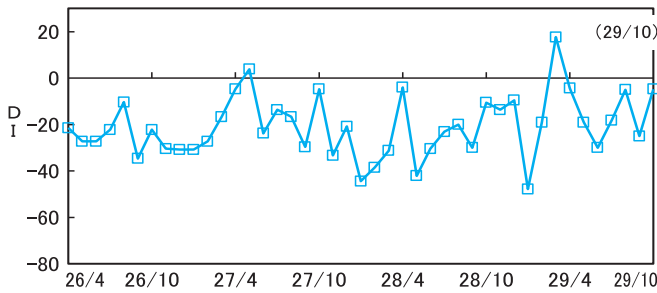
新築 27件 (前年 22件)

増築 3件 (前年 1件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI	-4.8	(先月 -25.0)
翌月予測DI	4.8	(先月 -9.1)

商業

食品の売上の前月比は業者により増減まちまち。前年比はやや減少との声が多い。一部に景況感が好転した業者も見られたが、大きな変化はないとの声が多い。「10月は地域の祭り等があり売上が伸びた」との声。野菜価格の変動が大きかった様子で、「野菜価格急落で売上に大きく影響した」などの声のほか、「松茸の不作が売上に影響した」との声が寄せられた。

【青果卸売市場】

売上は、前月比概ね横ばい、前年比はやや減少という。

野菜は、「二年連続で品薄の単価高であったこともあり、今年、平年並みの価格でも前年比では大幅な下落。全体では入荷量4%増で、価格は32%もの安値。例年にない雨量と台風で今後しばらく高値が予想される」との声。

果実は、「今年はりんごや梨はやや出荷が遅れ、入荷が10月に集中。昨年と比較すると入荷量でりんごは3割増、梨は2.3倍。果実全体では入荷量は前年比30%増、価格は24%安で、売上は前年並み」との声。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比変わらず、景況感に変化は見られない様子。

家事用品卸の売上は、前月比横ばい、前年比はやや増加。「8～10月の売上が昨年より上昇しており、現状は良かったと思う」などの声が聞かれた。「市指定ゴミ袋の単価が下がり、売上も下降。燃やすごみ袋は多く売れるが、埋め立て用のごみ袋は減少している」との声。

電化製品の売上は、前月比は業者によりまちまち、前年比減少～やや減少。「工場関係の設備投資が多く見受けられ、工場新設に伴うLED照明、大型空調設備の売上が伸びている」「急な冷え込みで家庭向け温風機の動きが良いものの、家電製品全般では売上が伸びず苦戦。今後は季節商品に力を入れていく」などの声が聞かれた。

OA機器の売上は、前月比、前年比ともに増加も、「特別な案件があって売上は伸びたが、仕入単価の値上がりのほかに、配送費負担の上昇も目立ってきた」などの声。「県内の同業大手のM&Aが進んでおり、業界の状況を映しているように思われる。事務機だけに頼らないといった、各社の方向性を決める時期が来たのかもしれない」との声が寄せられた。

衣料品の売上は、前月比、前年比ともに、業者により増減まちまち。増加したとする業者にあっても「次月の売上が今月計上された影響。実質変わらない」「依然、衣料品では消費志向低く厳しい」など景況感の好転には至っていない。

娯楽用品の売上は前月比、前年比ともに変わらず。次月以降売上はやや増加の見通しとの声。

土産物関連の売上は前月比減少～横ばい。業者の中には採算性を考慮し、商品販売中止による売上減少も見られた。一部に仕入が上昇しているとの声。先行き

に変化はあまりないとの声が多い。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比27%減少、前年比も11%減少。中古車は、前月比2%減少、前年比も6%減少した。9月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比50%増加、前年比も12%増加。中古車は、前月比11%増加、前年比も8%増加した。

自動車販売、整備の売上は、前月比、前年比とも増加との声、「新車、中古車共に売上増加」など景況感も好転との声が寄せられた。「中古車の仕入れは高価車が増え平均単価が上がった。販売価格は前年に比べ低下しているが、これは昨年が高かったため」「高年式、高価車の査定依頼が多くなっているが、地方の中小企業にも景気の高揚感を持っている経営者が増えてきたのでは」「出張検査への持込車検を止め、整備組合に加入した業者があった。今後も検討する業者が増えるのではないかと期待」などの声が寄せられた。

サービス業

市内料理店の売上は前月比、前年比ともに業者によってまちまち。「台風等で天気が悪かった為、魚の仕入れ値が高くなった」「既存顧客の高齢化、他店の低価格攻勢により来店客が減少」「平日と週末の来店客数の差が以前より拡大している」などの声が聞かれた。また、「飯田市内の居酒屋が9月から特に悪いという話を聞く。11月の状況は昨年より悪くなりそうなので経費の節減に努めつつ、お客さまの評価をいただいでいかなければならない」との声が聞かれた。

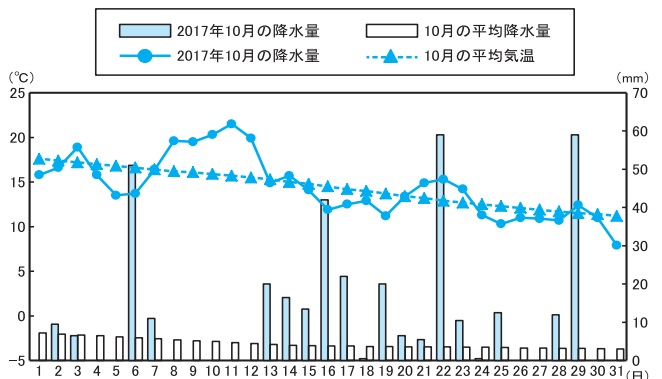
昼神温泉の売上は前月比やや減。「台風によるキャンセルがあったものの、紅葉シーズンに入り売上も伸び前年度より売上がUPした」との声があった一方、「週末ごとに来る台風によるキャンセルが響き、前年比やや減少」との声も。「以前の様な秋独特の賑わいはなく、りんご狩り、紅葉狩り、老人クラブの旅行等が減少している」「ナイトツアーが10月下旬の終了と同時に予約数が減少。星の依存度が高いと感じる」などの声が聞こえた。

タクシーの売上は、前月比やや減少、前年比やや増加。「夜間の需要は全く上向き感が感じられない」との声が寄せられた。また「働き方改革による残業時間の短縮、乗務員の高齢化による人手不足が機動性の低下を生み、サービスの低下を起している」という。

【企業からのコメント】

- ★飯田地域の小売店減少で、配送便の削減が進行中。
- ★効率化を最大限発揮できるような業界再編が具体的にになってきている。
- ★川上の合併が始まり、少量の発注ができなくなって不便。
- ★人員は充足しているが、希望者がいれば積極的に活用する。
- ★ぎりぎりの人員だが、増やせない。

飯田の気温と降水量



流れ雲の目(20) 良いものは必ずしも売れない

飯田信用金庫 地域サポート部
専門アドバイザー 小泉 敏郎

良いものは必ずしも売れるとは限らない、そんな馬鹿なことがあるかとお思いでしょうが、本当のことなのです。ところで貴方にとって本当に良いものとは何でしょうか、実際にどういうものが良いものなのでしょう。そして誰が良いものと決めるのでしょうか？

辞書を引いてみると、次のように書いてあります。

良いものとは：魅力があるもの、誇りと充実感をあたえるもの、未来に繋がるもの。

価値あるもの、喜ぶもの、他人が持っていないもの等々。

まだまだいろいろ出てきますが、良いものとは要するに自分にとって役に立つもの、自分の価値観に合致するものなのです。当然購入金額とリンクして付加価値を産むものと言えるでしょう。持つことにより他人より優位性のあるもの、他人が羨ましがれるもの、自分の目標に向かって有利に働いてくれるものとも言えるのでしょうか。

物のない昔、珍しいものや新しく便利なものに飛びついて購入した時代もありましたが、昨今は生産者が所謂いいものを作っても皆が喜んで購入するという時代は終わったのです。

技術屋が一生懸命知恵を絞り、試行錯誤しながら時間をかけやっと完成した製品です、さぞ素晴らしいことと思います。ある分野や技術者にとっては凄い製品なのでしょう。

技術的価値、技術の難易度、そしてその着眼点等とても素晴らしくて凄いと思います。

技術屋は本当に良いものができたと大喜びしますよね。

しかし事業性、商売上はという事になると、話はそう簡単にはいきません。

どこに(誰に、どの客層に、どの市場に)、幾らで(販売価格は)、どのくらい(販売目標数は)、そして生産体制はどの程度確保する必要があるのか、人員はどの程度必要か。

事業する上での設備投資、資金繰り、人材、販路など考えなきゃならない要素は沢山あります。

昔の話ですが、LED(発光ダイオード)を使った表示板(今は当たり前で、何も珍しくありませんが)を開発し、商店に拡販した会社がありました。今日の特売品は…、今日の日玉商品は…と、店先でお客様にPRを行うあの機械ですね。

ここで問題がありました。メーカー側の技術屋はパソコンで文字の入力は簡単にできますとの謳い文句でしたが、実はまだパソコンが一般家庭を含め個人商店にも普及していない時代だったのです。毎日の日玉商品を入れ換えるのに、その都度メーカー側に文字入力を依頼しなければなりません。確かにこの表示板の発想は良く先見性があり、その後全国的に広まっていきましたが、発売当初はこのような問題があり中々拡販は進みませんでした。

技術屋にとっては至極簡単な作業なのですが、当時は一般人には非常に難しい作業だったのです。生産者側から見ればごく優しく簡単なことも、ユーザーから見ると大変難しいこともあるのです。確かに良い物なのでしょうがユーザーサイドから見るととても難しく扱いにくい物だったのです。こんな簡単なことを優秀な技術屋は気が付かなかったのですね。

技術屋や生産者側から見たものと、ユーザー側から見たものとは、良いものの定義が違います。プロダクトアウト(生産者第一主義)でなくマーケットイン(顧客第一主義)でなければ物は売れず市場からは認知されないのです。良いものは必ずしも売れない、しかし欲しいものはお客様に喜ばれ売れるということなのです。これ

は素晴らしい物だから高くっても売れるはずだというのは明らかに技術者の傲慢とも言えるでしょう。

右肩上がりではない減速経済環境、成熟市場では顧客ニーズが第一であり、独りよがりのプロダクトアウトの考え方の経営者や企業には薔薇色の未来は考えにくいでしょう。

例えば皆さんは、車のガソリンを入れるスタンドや日々の衣料品や食材を購入する時に、どうやって店舗を選んでいきますか。値段が手ごろだから、近所だから、サービスが良いから、店員が良いから、品質が良いから、品数が豊富だから、好きなブランドだから等々、要因はいろいろあると思います。でも、選択するのはお客様、ユーザーですよ。

これと同じことはあらゆる場面で言えることです。物に限らず対応や行動にしても自分は良かれとってしている行動が、相手にしてみると好感の持てる対応ではなく反対に嫌悪を感じる対応であったりするわけです。

社内、社外、客先、市場すべての環境で自分勝手に(=素直に良かれとって)発信する物、行為、態度、言動は、自分の意思に係わらず、相手に対し自分の本意が屈折して伝わることが往々にしてあるということです。

厳しい環境の中で自社の製品、商品を永年購入してもらっているのは何故でしょうか？

技術、品質、価格、納期、人脈等々、これからも継続していけるのでしょうか？自社の特徴、長所は何だろうか、短所、弱みはどこだろうか？

忙しい経営者の皆様方は人間ドックに定期的に行かれていますと思いますが、自分の身体と同じようにここで自社の健康診断をしてみても如何でしょうか。

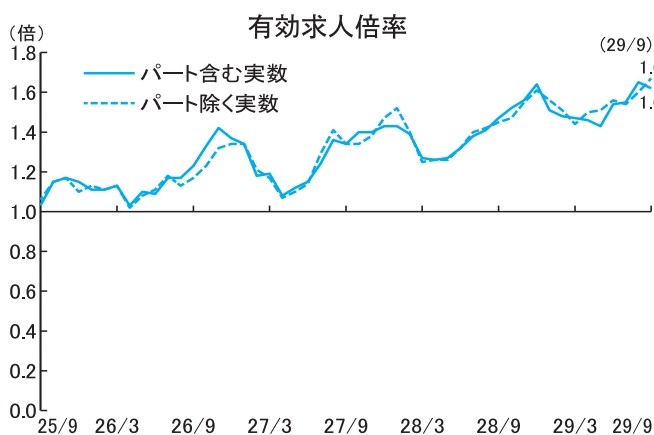
今後事業を継続、発展していくためには、問題点、課題の早期発見、早期治療が一番大事なことではないでしょうか。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

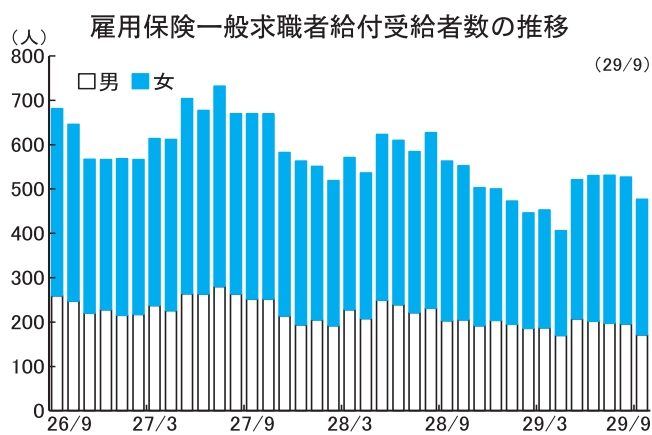
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



9月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.62倍と、前月から0.03ポイント下降。パートを除く実数は1.67倍で、前月から0.07ポイント上昇している。



9月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は、前月に比べ、男性は25人減少、女性も25人減少しており、全体では477人と前月から50人減少している。

(資料：ハローワーク飯田)

第10回 三遠南信しんきんサミット

アンケート調査にみるリニア開業後に関する意識

去る11月18日浜松市において三遠南信地域9金庫（遠州：浜松、磐田、掛川、遠州の4信金、東三河：豊橋、浜松、蒲郡の3信金、南信州は飯田と本年度からアルプス中央信金が加入し2信金）の共催による第10回三遠南信しんきんサミットが開催されました。サミット企画として三遠南信に関するアンケート調査が今回も実施されました。



第10回三遠南信しんきんサミット講演会

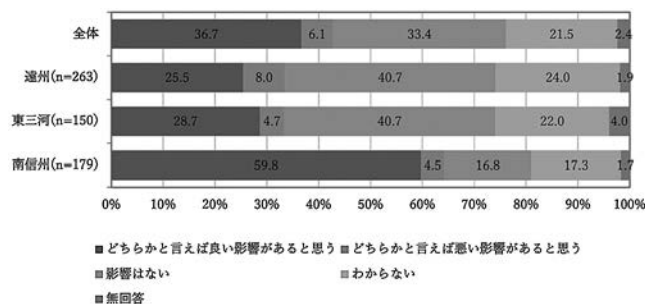
アンケート調査結果の全体については機会を改めて紹介いたしますが、アンケート調査にリニア新幹線に関する項目がありますので、こ

こに着目して概要を報告します。尚、本年度のアンケート調査の計画および調査結果の取りまとめは、幹事金庫の浜松信用金庫と関連シンクタンクの静岡県西部地域しんきん経済研究所が担当しました。

1. リニア中央新幹線の地域への影響は

アンケート調査の回収数は、遠州地域263、東三河地域150、南信州地域は179です。「①リニア中央新幹線の開通はあなたの地域にどのような影響を及ぼしますか」では、「良い影響」が遠州25.5%、東三河28.7%、南信州は59.8%です。「影響はない」が、遠州地域と東三河地域が同率の40.7%、南信州地域が16.8%となっています。

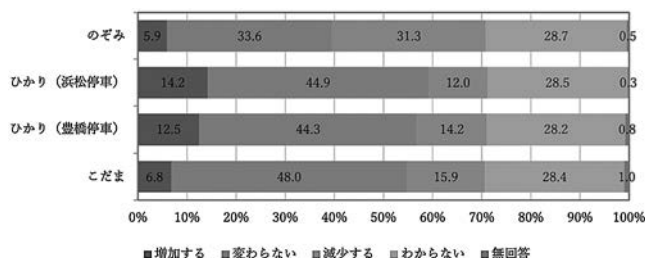
① リニア中央新幹線開通のあなたの地域への影響は？



2. リニア開通後の東海道新幹線の運用状況は

注目の設問は、リニア中央新幹線の開通後、東海道新幹線の運用状況がどうなるか、です。JR東海は、のぞみがりニア新幹線に振替わることで、ひかり・こだまの本数を増加でき、各地域のニーズに応えられる、と説明していますが…。

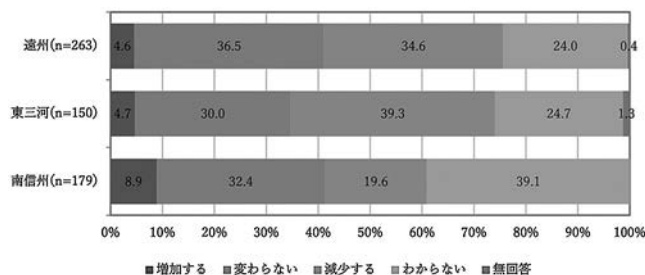
② リニア中央新幹線開通後の東海道新幹線の運用状況は？



(1) のぞみの運行状況

のぞみについては、「増加する」が3地域で4%~9%。遠州地域、東三河地域では「変わらない」と「減少する」が拮抗していますが、東三河地域は「減少する」がやや上回っています。

③ リニア中央新幹線開通後の「のぞみ」の運用状況は？



(2) ひかり (浜松停車)

ひかりが浜松駅を停車する本数が「増加する」は、遠州地域では12.2%、東三河地域では21.3%。東三河地域では「ひかりの停車が増加するとすれば、浜松駅では」と考えられている可能性が窺われます。

(3) ひかり (豊橋停車)

ひかりが豊橋駅を停車する本数が「増加する」は、遠州地域で8.4%、東三河地域では21.3%で、東三河地域が遠州地域の3倍近い比率。両駅での停車本数(平日の上り下り計)は豊橋駅がひかり18本のこだま66本、浜松駅はひかり36本にこだま68本。ひかりが浜松駅は毎時1本以上停車するのに対し豊橋駅は2時間に1本という現状がこの結果に出ていると考えられます。

(4) こだま

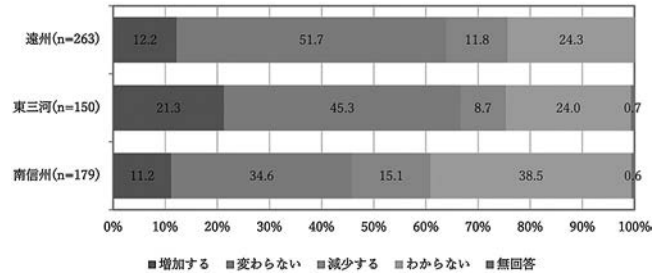
こだまについては両地域とも「増加する」が6%程度。両駅ともこだまは1時間に2本の停車となっており、こだま停車増のニーズは多くないとみられます。

3. リニア新幹線と三遠南信自動車道と東海道新幹線

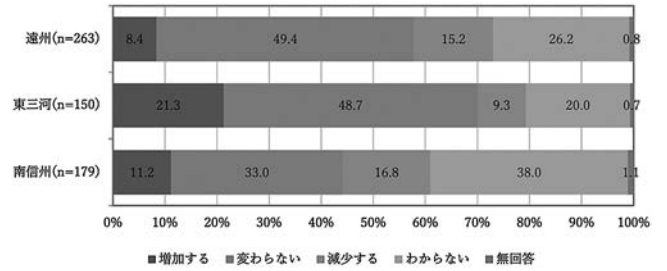
愛知大学三遠南信地域連携研究センター長の戸田敏行教授の調査(2010年)によると、リニア新幹線が開通し三遠南信自動車道と結節することにより、東海道新幹線よりもリニア新幹線に乗る方が所要時間を短縮できる区域が三遠南信地域内に相当広がることが示されています。三遠南信地域内に、リニア・東海道の両親幹線の運行状況を見てどちらに行くかを判断する時代がやってくる、ということです。

浜松・豊橋両駅の調査結果から、新幹線が1時間に1本以上停まることは地域の満足度の上で決定的と考えられます。南信州地域として「リニア長野県駅に毎時1本以上の停車」を求めていくことは極めて重要な課題といえます。

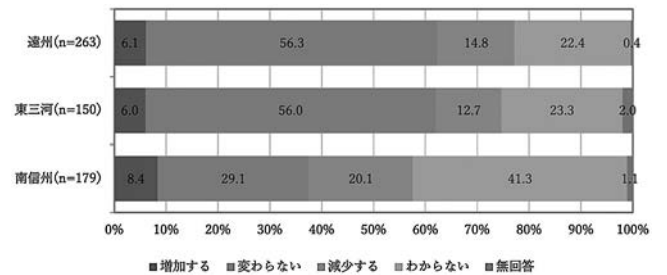
④ リニア中央新幹線開通後のひかり (浜松停車) は?



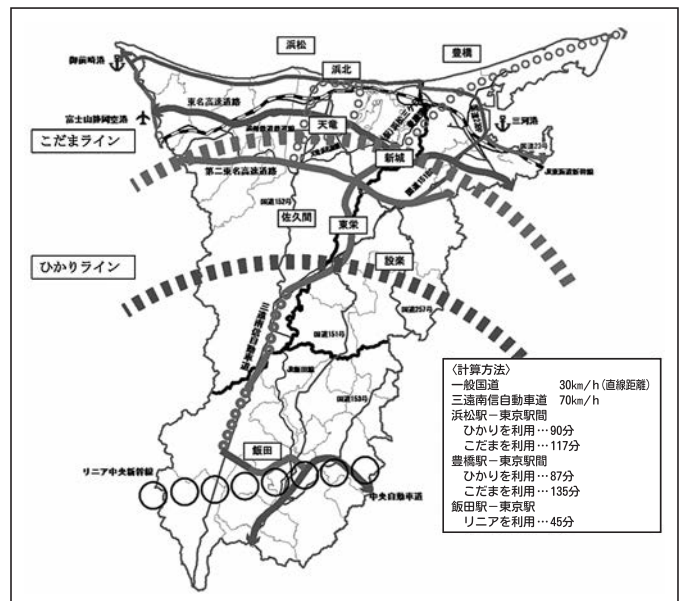
⑤ リニア中央新幹線開通後のひかり (豊橋停車) は?



⑤ リニア中央新幹線開通後のこだまは?



リニアによる交通圏変化



(愛知大学三遠南信地域連携研究センター 戸田敏行教授の調査結果 2010年作成) (道路の表記、所要時間等は調査時点のもの)

(飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平)

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数					
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%
平成23年	519	△ 6.8	322,932	△ 3.5	186,915	△ 1.6	118,624	△ 20.1
24	737	42.0	328,149	1.6	186,582	△ 0.2	116,485	△ 1.8
25	569	△ 22.8	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4
26	563	△ 1.1	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	634	12.6	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1
28	514	△ 18.9	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8
平成28.7	58	9.4	26,517	4.2	17,613	9.2	9,975	△ 0.2
8	70	4.5	36,140	△ 5.2	22,181	5.5	10,273	△ 5.4
9	78	30.0	26,977	△ 4.0	17,418	0.3	9,385	△ 3.0
10	51	21.4	28,049	2.5	18,676	5.5	10,272	△ 5.2
11	50	△ 13.8	25,575	△ 2.4	17,622	0.3	9,285	△ 6.7
12	50	6.4	28,239	1.9	18,090	6.3	8,605	△ 3.2
平成29.1	56	51.4	26,478	4.3	17,070	4.2	8,568	△ 2.1
2	42	△ 2.3	22,454	△ 1.9	16,616	10.0	8,629	0.1
3	69	35.3	29,945	△ 1.2	19,682	3.9	10,190	△ 2.5
4	32	△ 13.5	24,732	△ 1.9	17,300	15.6	9,870	△ 0.9
5	52	15.6	28,602	1.2	18,241	7.7	10,568	2.0
6	57	△ 10.9	23,964	6.1	15,883	6.9	9,907	0.1
7	53	△ 8.6	26,791	1.0	18,332	4.1	9,876	△ 1.0
8	69	△ 1.4	36,781	1.8	22,583	1.8	10,346	0.7
9	—	—	27,166	0.7	18,546	6.5	9,448	0.7
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社					

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本登録事務所管内)				有効求人倍率	
	新車		中古車		長野県	飯田管内
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値(但、年平均は実数)	
	台	%	台	%	倍	倍
平成23年	24,943	△ 17.1	6,983	△ 1.4	0.72	—
24	32,028	28.4	7,390	5.8	0.81	—
25	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—
平成28.7	2,080	△ 19.7	568	△ 23.7	1.41	1.33
8	1,697	△ 9.4	551	△ 1.4	1.43	1.37
9	2,565	△ 14.5	597	△ 4.3	1.46	1.33
10	2,172	△ 6.4	634	△ 6.4	1.49	1.35
11	2,074	△ 6.8	538	△ 7.2	1.51	1.40
12	2,082	△ 9.6	558	△ 10.9	1.57	1.53
平成29.1	2,012	△ 8.5	387	△ 11.2	1.49	1.80
2	2,441	4.6	542	△ 5.4	1.51	1.61
3	4,018	1.3	884	△ 4.1	1.48	1.64
4	1,878	△ 5.7	717	2.4	1.52	1.57
5	1,928	△ 8.4	563	△ 3.9	1.53	1.62
6	2,524	1.6	669	△ 13.1	1.57	1.54
7	2,179	4.8	630	10.9	1.63	1.55
8	1,708	0.6	560	1.6	1.62	—
9	2,639	2.9	608	1.8	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野県労働局・ハローワーク飯田	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成23年	72,078	92,170,690	155	13	2,132	8.9
24	65,692	86,556,524	138	17	1,913	△ 10.3
25	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
平成28.7	3,334	3,496,772	9	0	182	△ 5.2
8	4,456	5,177,038	8	1	149	△ 8.0
9	3,791	4,807,264	6	0	176	△ 17.8
10	3,779	3,762,544	7	1	147	△ 13.0
11	3,720	3,727,391	9	0	166	16.1
12	3,973	4,701,810	5	1	206	△ 12.0
平成29.1	3,950	5,080,674	6	2	116	3.6
2	3,713	5,233,036	4	1	159	△ 1.2
3	4,109	5,024,211	8	2	266	△ 4.0
4	3,188	3,500,980	10	2	127	△ 3.8
5	4,310	5,306,503	9	0	122	△ 11.6
6	3,757	5,119,941	9	0	160	1.3
7	3,702	4,130,157	7	0	148	△ 18.7
8	3,658	4,763,709	5	0	167	12.1
9	3,123	4,551,456	6	1	179	1.7
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成23年	2,917,737	△ 2.4	1,851,218	△ 0.7	372,191	△ 4.8	950,485	1.3
24	2,933,104	0.5	1,913,719	3.4	376,518	1.2	1,010,571	6.3
25	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.8	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 14.0	1,022,578	△ 2.4
平成28.7	237,316	0.8	155,742	3.2	28,941	△ 18.9	87,501	0.1
8	257,508	△ 0.3	168,515	1.3	40,992	△ 18.5	112,045	1.0
9	229,323	△ 5.8	158,198	△ 2.2	28,382	△ 36.8	83,848	△ 14.5
10	247,170	△ 4.1	172,088	0.3	37,037	△ 26.3	97,816	△ 7.6
11	242,056	0.3	180,920	2.4	32,774	△ 5.8	94,113	△ 2.5
12	228,660	1.5	155,405	5.0	24,577	△ 11.1	77,284	△ 2.2
平成29.1	205,978	△ 0.5	130,174	3.2	27,023	△ 11.3	68,660	△ 3.7
2	191,670	△ 2.3	123,792	1.2	25,369	△ 15.0	64,582	△ 7.3
3	235,070	△ 0.6	149,971	2.2	27,553	△ 8.3	80,561	△ 1.5
4	222,552	1.3	145,101	4.7	35,626	△ 8.0	83,199	△ 1.1
5	239,594	2.5	156,788	4.8	45,911	32.4	95,068	7.0
6	225,614	2.4	151,622	4.4	20,961	7.7	75,668	2.0
7	238,975	0.7	161,110	3.4	28,150	△ 2.7	86,946	△ 0.6
8	257,394	0.0	173,967	3.2	40,285	△ 1.7	114,513	2.2
9	232,110	1.2	163,879	3.6	30,041	5.8	88,346	5.4
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							